

食農教育活動



毎年、管内の小学校を対象に行っている農作業体験学習。食の大切さ、食を支える農業の大切さを知ってもらおうと毎年開いています。

今年度は、能代市立淳城西小学校5年生が体験学習に取り組み、ネギやジャガイモ、カボチャなどを栽培・収穫しました。その栽培記録が、種苗交換会の学校農園展に出展され、淳城西小学校の取り組みが審査員特別賞に輝きました。

女性部大会で体験発表した児童からは「自分たちの口に入るまでには、たくさん作業があることを知った」、「収穫作業は大変だったけど、この大変さ、収穫した野菜の重さが農業の喜びだと思っただ」と感想を発表してくれました。



農作業体験を発表する
淳城西小の児童

地産地消運動

「地産地消」とは、「地場生産―地場消費」を略した言葉で、管内で採れた新鮮で安心できる農畜産物を、できるだけ地域で消費しようとする意味で使われています。食に対する安全性が重要視されている中、安全・安心な地場産食材を提供し、消費者との交流を深め、地域の健全な食生活と食文化の維持に努めています。

地区の女性たちが集まって行う料理教室をはじめ、管内の小学校に向き、巻き寿司やみそたんぽづくり体験などを通して「健全な食生活の維持」と「伝統的な食文化の継承」に努めています。



各支部で料理講習会を開催



地元のお米を使った
巻き寿司作りに挑戦

助けあい活動



少子高齢化の進行と核家族の増加により、地域での交流やつながりが弱まる昨今。女性部では、生活支援や地域ボランティア活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。

毎年、各地区で開催するミニデイサービスに協力し、いつまでも元気に過ごせるよう健康管理活動を行うほか、地域住民との交流を深め地域の活性化を図っています。また、いなほの里や白神憩の郷などの施設へ野菜やタオルの寄贈なども行っています。

